

1. 地球的人口問題とその解決策についてろんじなさい。

統計資料によると世界の人口は、現在 68 億 8 千万人であり、1400 年以来増加し続けている。その増加率は 1950 年代から 70 年代にかけてピークが 2.2%の時期があったが、2009 年では 1.1%に減っている。年間の誕生数は 1990 年代の 1 億 7300 万人をピークに、1 億 4000 万人に減ってきているが、5700 万人の死亡にも関わらず 9000 万人の継続的な増加が 2050 年まで続くと推定されている。このままでは 2050 年には世界の人口は 80 億人から 105 億人になると見積もられている。

一方、地域別にみるとアジアには 40 億人を超える人口があり、世界の人口の 60%以上を占めている。その中でも中国とインドで 40%を占めている。アフリカが 15%、ヨーロッパが 11%、北アメリカが 5%、ラテンアメリカ・カリブが 9%、オセアニア・オーストラリアが 1%となっている。

このように人口が爆発的に増えることは単なる数の問題ではなく、多くの問題を抱えている。1000 年に一度の食糧危機と言われ、限られた食料資源の獲得に各国、企業の争奪争いが危惧されている。

また、地球環境に目を向けると、まず資源の枯渇がある。石油および石炭などのエネルギーの大量使用によって限られた資源がなくなる恐れがある。飲むのに適した飲料水及び穀物の生産に必要な灌漑用水をどのように確保するかが問題である。

次に、人口増による市街化が進み市街地及び工場などの面積が拡大され、動植物の生息地が狭められていくことである。ビルや道路の拡張により生息地が分断されていくこともある。

そして汚染問題がある。排気ガスなどによる空気の汚染、それによるスモッグ被害。また多くの水を使うことによる水の汚染も生じてくる。

これらの問題は、先進国では技術的に解決されているもののまだ十分ではない。

特に開発途上国に至っては、環境問題に対応する処置どころではない。

今日一日の食べ物に困窮している貧困地域にあっては、自ら環境を変えていくことはできない。

したがって、人口問題は開発途上国の貧困問題と関係している。

開発途上国の生活環境については、最低限の栄養、安全な水、基本的な医療さえ確保できない状況で、乳幼児の死亡率が高く、5 歳未満で死亡する数が極端に多い。そのために出生率が下がらない状況がつづいている。

人口増加を止めるためには子供の生存率を改善させる必要があるといわれている。

衛生教育により石鹼や医薬品を使用できるようにし、家族計画により家庭の規模を小さくすることである。これはある程度発展した国のことである。

開発途上の国で、子どもの生存率が 70~80%に上がったとしても一世代ごとに倍になる。世界的に人口増加を止めるには、これらの子供の生存率を 90%以上にしなければならない。

解決策としては、開発途上国特に貧しい国に対して、国及び国際レベルで支援し、モノを与えるだけでなく、ソフト面の支援が大切になっている。

生活環境、生活レベル、社会環境、保険教育など人間として生活の基本的権利などの普及活動が大切である。

特に最貧国といわれる国では、女性の社会的・経済的地位を高める方策を国が定めることである。そして女性の自立こそが人口増大を防止する道であると思う。 (A)